

**豊かな地域社会を目指す
ICT 利活用推進に関する調査研究会
報 告 書 (概要版)**

平成 19 年 3 月

豊かな地域社会を目指す
ICT 利活用推進に関する調査研究会
総務省 北陸総合通信局

1 調査研究会の設置経過

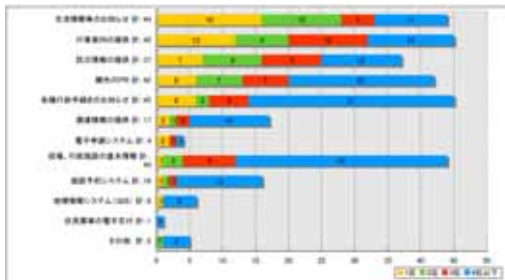
北陸3県の情報通信基盤の整備は着々と進展しているが、これらを有効に使ったICT利活用の高度化を推進していくことが必要であり、これからの地域情報化の取組は、民間企業だけ、あるいは自治体だけで進めていくべきものでもなく、国、県、市町村の連携に加え、地域の住民やNPO法人、地元企業や商工会議所など、地域のあらゆる構成員が一体となって、その地域が必要としている目標を実現するため、力を合わせていくことが重要である。

ICT利活用の推進を図るためには、このような状況にある情報通信基盤を利用したサービスを調査研究し、その課題と問題点を洗い出し、それにより北陸の情勢に合ったICT利活用方策を検討するため、本調査研究会を設置したものである。

2 北陸地域におけるICT利活用の現状と課題

本調査研究の一環として、北陸3県の地方公共団体を対象に、情報化施策の現状等について把握するためアンケート調査を行った。アンケート調査の分析結果の概要は、以下のとおり。

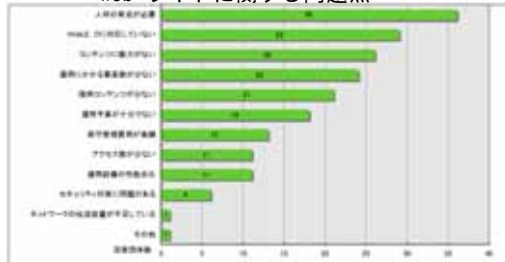
コンテンツ別重点的取組状況



(1) Webサイトの状況について

- ・住民生活に関連する身近な情報提供に加え、行政手続等のサービス導入の必要性
- ・運用面における人材の育成とコンテンツの充実の必要性
- ・ICT分野の予算を確保するため、バナー広告掲載により収入源を模索

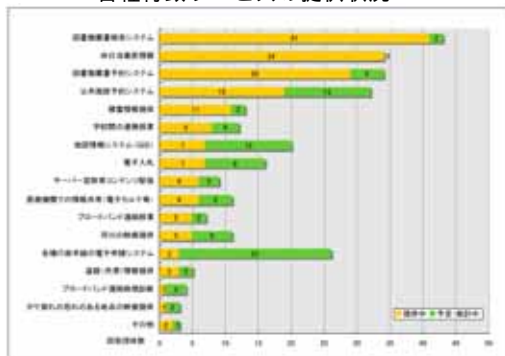
Webサイトに関する問題点



(2) ICTを活用した各種行政サービスについて

- ・住民へのPRの必要性
- ・サービスの運用体制の充実と財源の確保の必要性
- ・ICTサービスの費用対効果の追究

各種行政サービスの提供状況



(3) 地域情報化に関する課題について

- ・情報政策部門における人材育成の必要性和人員の確保
- ・リアルタイムな住民ニーズの把握とコンテンツ内容の充実向上

3 地方自治体等での先進的な情報通信システム導入事例の調査研究

(1) 北陸地域における先駆取組事例

本調査研究会では、北陸地域における先駆取組事例について調査し ICT 利活用の推進方策の検討に資するため、各構成員から所属機関での取組事例の発表を行った。

取組事例紹介

- ・富山県...「富山マルチネットの利活用について」
- ・富山市...「富山市地域医療連携システムについて」
- ・南砺市...「ひらけ明日へ、世界へ 南砺市 情報化の現状と展望」
- ・氷見市...「地域情報化対策について～情報通信格差是正に向けて～」
- ・石川県...「石川県における情報システム調達の取組みについて」
- ・金沢市...「金沢市の情報化の現状」
- ・白山市...「白山麓地域情報通信基盤整備事業 / 白峰地域無線 LAN 整備事業」
- ・能登町...「能登町有線テレビ放送 e-のとネット TV の概要」
- ・福井県...「福井県の ICT 利活用に向けた取組み」
- ・福井市...「統計データベースシステムの構築と利活用」
- ・敦賀市...「ケーブルテレビ局の自主放送番組データ放送」
- ・あわら市...「統合型地理情報システム (GIS)」
- ・北陸経済連合会...「北陸 STC 事業について」
- ・(株)NTT西日本-北陸...「ICT 活用先進事例のご紹介」
- ・北陸通信ネットワーク(株) ...「電力グループによる ICT 利活用事例のご紹介」
- ・(株)インテック...「ICT を活用した地域プラットフォーム インターネット市民塾の取組み」

(2) 北陸地域及び全国の先進的な情報通信システムの現地調査

北陸地域及び全国には数多くの先進事例が存在し、それぞれの地域の各分野で効果を発揮している。これらの先進事例を、北陸地域の ICT 利活用推進に活かすため、次の 3 市における情報通信システムの現地調査を実施した。

- ・南砺市：南砺市情報化システム
- ・敦賀市：ケーブルテレビ自主放送番組内データ放送
- ・横須賀市：横須賀市壮快システム及び横須賀市緊急通報システム

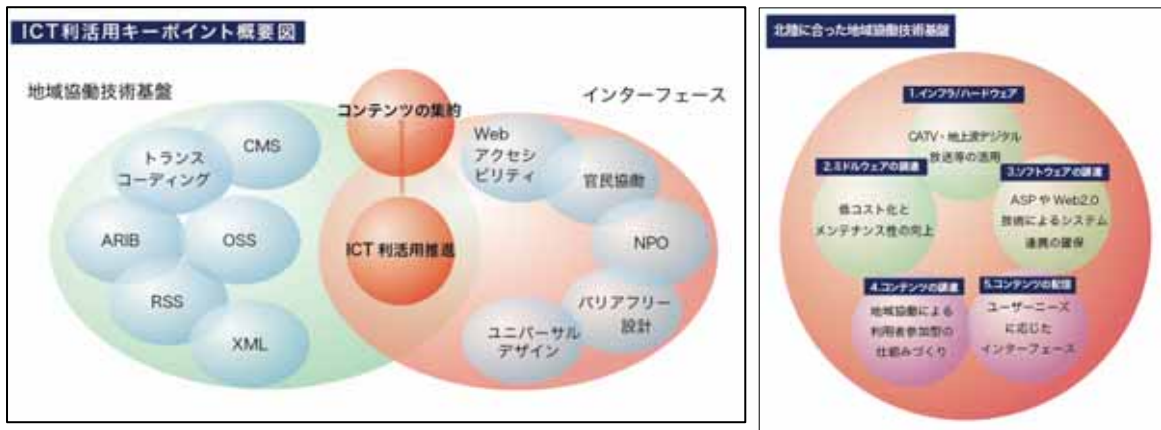
(3) ICT 利活用先進事例を北陸地域に導入する場合の効果、技術的課題及びモデル性等についての分析・評価結果

北陸地域および横須賀市の先進的な情報通信システムの現地調査等を通じて、ICT 利活用による豊かな地域社会を実現するための手法を鑑みると、次の 2 点がキーポイントとなっていることがわかり、これらの構築と実装を北陸全体において進めることが ICT 利活用を底上げすることにつながると考えられる。

多様なシステム同士が共に連結し、コンテンツが自動的に生み出されていく仕組み（地域協働技術基盤）の構築。

誰もが使いやすい ICT 利活用環境を実現するインターフェースの実装。

なお、ICT 利活用キーポイントとそのフェーズは下図のとおり。



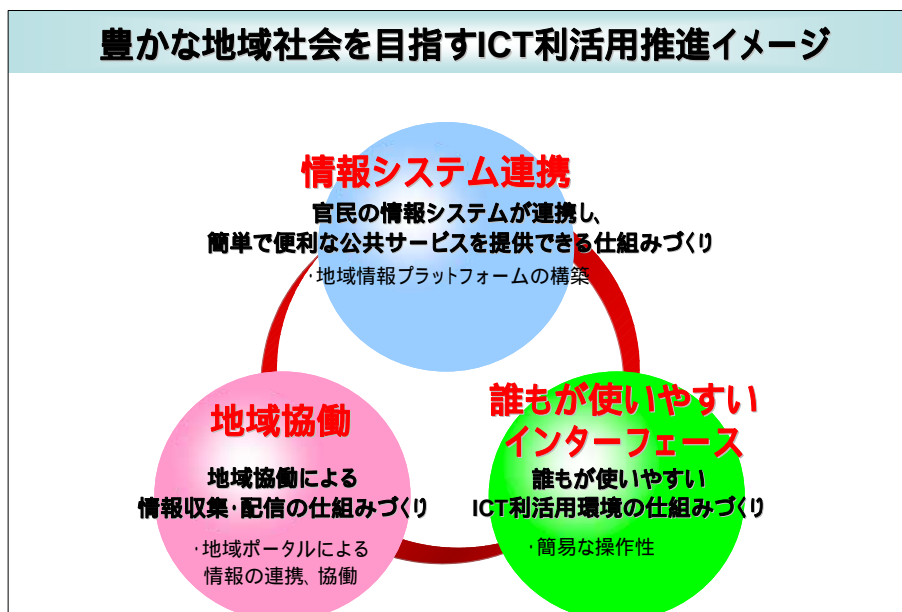
4 今後の ICT 利活用推進方策

ICT の利活用は、情報と情報を相互に結びつけた上で、ユーザーに個別のサービスを提供する方向で急速に進んでおり、その情報連携の仕組みは、地域協働が求められている地域社会のまちづくりにおいても有効に活用されている。また、直感的で簡易に、誰もが同様に情報を共有できるようにユーザーインターフェースを工夫することが、ICT 利活用の促進にとって重要である。

豊かな地域社会を目指す ICT 利活用推進策として、以下の提言を行うものである。

(1) ICT 利活用を推進するための仕組みづくり

ICT を利活用することで豊かな地域社会づくりを目指すためには、次の 3 つの仕組みづくりを推進していくことが必要であり、これらが総合的に機能し合って「北陸に合った ICT 利活用のための地域協働技術基盤」を実現し、豊かな地域社会を実践していくことが望ましい。



官民の情報システムが連携し、簡単で便利な公共サービスを提供できる仕組みづくり

地域における情報連携、地域協働化を進めていくためには、自治体、地域住民、地域企業等、地域の多様な主体がシステムを連携した上で、情報を相互に流通させることによって、簡易で利便性の高い住民サービスを提供できる仕組みとして地域情報基盤（地域情報プラットフォーム）を構築することが望ましい。

地域協働による情報収集・配信の仕組みづくり

情報提供者がボランティア的に情報配信を行うのではなく、多くの個々の利用者が各々の目的のために行った情報発信がいつの間にか協働し、より有益な情報に高められるような形が必要であり、このように地域の協働(公私協働)により情報が自然に収集・配信される仕組み(地域ポータルによる情報の連携、協働)が作られていくことが望ましい。

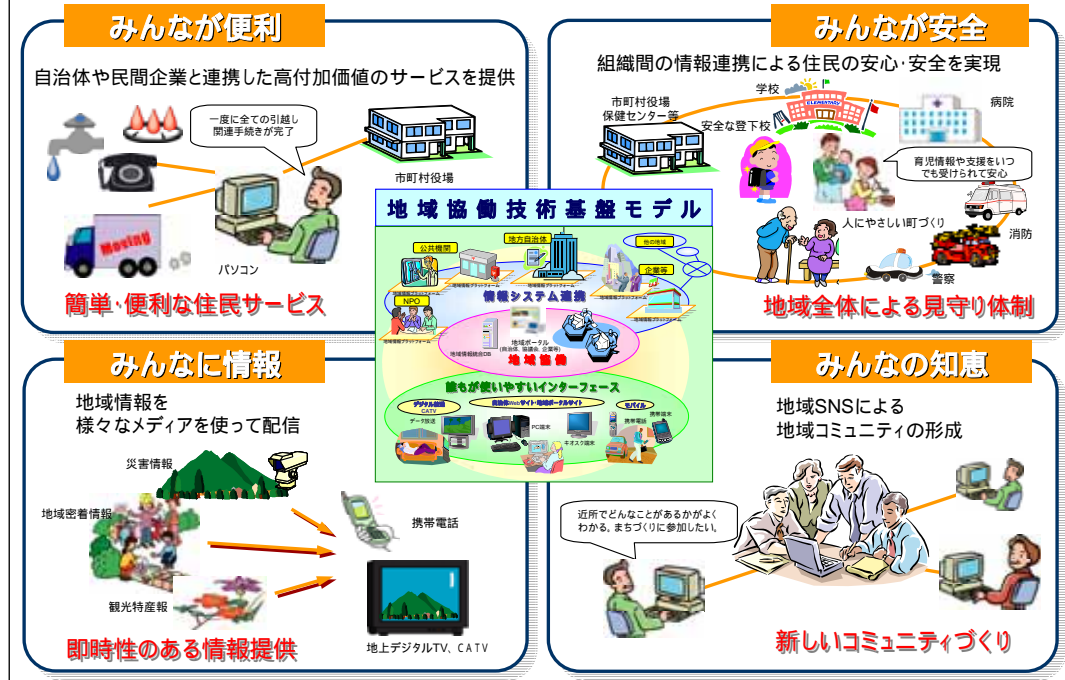
誰もが使いやすい ICT 利活用環境の仕組みづくり

身体に障害を持つ方だけではなく、高齢者の方でも扱いやすく、個人の特性や好みに対応するように、インターフェースやナビゲーションに簡易な操作性を持たせることにより、誰もが使いやすい ICT 利活用環境の仕組みを構築することが望ましい。

北陸にあった ICT 利活用のための地域協働技術基盤モデル図及び具体的な利活用シーンを下図に示す。



地域協働技術基盤の具体的な利用シーン



(2) 豊かな地域社会を目指す ICT 利活用推進のための手法

ICT を利活用した豊かな地域社会を形成するためには、地域コミュニティベースによる問題の整理・解決が必要であり、その課題は次のとおりである。

- ア 地域の課題、住民・地域ニーズの把握
- イ 魅力あるコンテンツの流通
- ウ 地域の ICT を担う人材の育成
- エ 費用対効果の追究
- オ 財源の確保
- カ セキュリティの確保